

## 一、部落差別をめぐる1970年代の状況

### 1、身元調査をめぐる

ア、『地名総鑑』事件<資料『部落史をどう教えるか』寺木伸明他 1992年 解放出版社>

イ、就職活動をめぐる<資料 同上>

### 2、差別がもたらしたもの<資料 同上>

### 3、過去帳調査（1971年）1675件回収（16%）

ア、「本来の目的以外に見せたことがある＝239件」

イ、「興信所に見せた＝17件」「個人に見せた＝154件」

ウ、「結婚＝105件」「就職＝19件」

## 二、「差別法名・過去帳調査」

### 1、1983年調査（回収率95，2%）

ア、「差別法名などあるはずがないので見ずに回答した＝24，1%」

イ、「過去帳又はこれに類する帳簿の取り扱い基準」（1986年）<資料>

### 2、1997年調査（回収率99%）

ア、内容<資料>

イ、「過去帳又はこれに類する帳簿の取り扱い基準」（2014年）<資料>

## 三、「過去帳」とは何か

### 1、真宗に生きた人々の往生の記録

### 2、真宗に生きた人々とお寺との絆の記録

### 3、個人情報の「宝庫」

ア、「個人として尊敬される」『日本国憲法』（第13条）

イ、「何人も、自己の私事、家族、家庭もしくは通信に対して、ほしいままに干渉され、又は名誉及び信用に対して攻撃を受けることはない。人はすべて、このような干渉又は攻撃に対して法の保護を受ける権利を有する」『世界人権宣言』（第12条）

ウ、身元調査の道具

## 四、身元調査をめぐる今日的状況

### 1、プライム事件<資料>

### 2、「示現社」事件

### 3、社会意識

ア、「部落差別に関する意識調査」（2006年 近畿大学人権問題研究所 奥田均）

・府民7000人（3675人回答）

・「自分や親戚や友人で同和地区の人との結婚に関して反対に当たりしことがある＝23，2%」

・「結婚相手が同和地区出身かどうかが気になる＝20，2％」「同子どもの結婚相手＝23，2％」

・「家などの購入において同和地区や校区内に同和地区のある小学校のある物件は避ける＝27，2％」

イ、皇室と部落に関する報道＜資料＞

五、「安芸教区における過去帳に類する帳簿の開示問題」（2012年）

1、経過＜資料『朝日新聞』2014年5月16日付＞

2、問題点＜資料＞

六、「富山教区における過去帳の開示問題」

1、経過＜資料＞

2、問題点＜資料＞